

優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成22年度
2. 事業場名：大林・鉄建・五洋建設共同企業体
小田急東北沢 JV 工事事務所
3. 工事名：代々木上原駅・梅が丘駅間線増連続立体交差工事【土木第1工区】
4. 発注者名：小田急電鉄株式会社

5. 工事概要：本工事は小田急線立体交差化事業の一環で、擁壁・高架橋改修及び開削トンネル工事を行う。
6. 埋設管状況：下水管（φ250）
水道管（φ100～200）
ガス管（φ50～300）
NTT管（φ75～1200）
東京電力管（φ1500他）

施工場所 東京都世田谷区



7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 綿密な計画のもとに吊り防護及び受け防護を行っている。
- 2) 営業線近接工事・営業線直下であること、既設の駅部での工事であることから、鉄道運行や旅客への対応に細心の注意を払い施工している。
そして各埋設物の管理状況は極めて良好で、現場と店社が一体となって対応している。
- 3) 埋設物が横断道路部に集中していて、土被りが浅く施工の難易度は非常に高いが、各埋設企業者と協議を行い、手順を踏み確実な施工を行っている。
- 4) 営業線近接工事は時間の制約が大変厳しく、深夜の2時間20分の短い機電停止期間に吊り防護等の資材を所定の位置に投入し、埋設物防護作業を行わなければならないなど厳しい環境の中で作業を完成させている。
- 5) 現場が鉄道営業線、それも既設駅部であることから作業エリアは狭いが、その中で資材置き場をよく検討し、乗客への配慮の観点から材料の整理整頓状況は大変良好である。
- 6) 毎日夜間作業が継続する厳しい条件ではあるが、所長の現場方針の下、全員が明るく活発で、また、ほぼ全員が当対策本部の埋設物講習を受講しており埋設物に関する意識が高い。

過去に掲載された優良現場へのリンク